

会報

NO. 16

令和3年12月28日発行
なごや歴まちの会
名古屋市中区東区横木町3-58
contact@758rekimachi.net

★人蔘湯ほかまちなか見学会

十リノベーショントーク

見学委員会は、二年前に京都の「サウナの梅湯」を手掛けるゆとなみ社の見学を計画し、コロナ禍の為、実施延期となっていました。十二月四日（土）に、豊橋市で、ゆとなみ社が経営を引き継いだ『人蔘湯』の見学会を開催しました。参加者九名で、人蔘湯の見学をした後には、用水路上に建つ商店街の「水上ビル」を、大豊商店街の黒野氏（建築士）の説明を聞きながら散策しました。



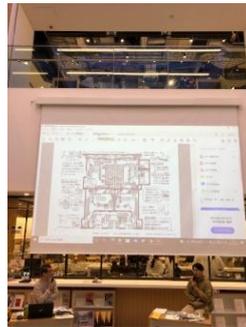
『人蔘湯』



昼食後は、豊橋駅前のオープン間もない「まちなか図書館」で、ゆとなみ社代表の湊三太郎氏を交えて銭湯継業に至るプロセス等、そして現代に求められている銭湯の保存活用事例のお話を、お聞きしました。



水上ビル散策



「リノベーショントーク」@まちなか図書館中央ステップ

★『第四期なごや歴まちびと養成講座発表会・修了式』が十二月十一日（土）に開催され、当会より加藤昌之氏、野口和樹氏、山田美紀子氏、松井明子氏の四名が参加しました。

『事務局だより』

第二回事務局会議開催

八月三〇日（月）一八時～一九時に、第三回事務局会議がコロナウィルス感染症対策の為、オンライン会議として開催されました。

出席者（順不同、敬称略） 加藤昌之、野口和樹、原眞佐実、澤村喜久夫、鈴木祥司、山田美紀子、小川志保、松井明子、蒲珠妙、山田浩喜、春日井哲也
司会：松井明子

第四回事務局会議開催

九月二七日（月）一八時～一九時に、第四回事務局会議がコロナウィルス感染症対策の為、オンライン会議として開催されました。

出席者（順不同、敬称略） 加藤昌之、野口和樹、原眞佐実、澤村喜久夫、鈴木祥司、山田浩喜、山田美紀子、小川志保、松井明子、山口ゆずみ、春日井哲也
司会：松井明子

第五回事務局会議開催

一〇月二五日（月）一八時～一九時に、第四回事務局会議がコロナウィルス感染症対策の為、オンライン会議として開催されました。

出席者（順不同、敬称略） 加藤昌之、野口和樹、原眞佐実、澤村喜久夫、鈴木祥司、村上雅郁、山田美紀子、小川志保、松井明子、山口ゆ

第六回事務局会議開催

十一月二九日（月）一八時～一九時に、第四回事務局会議がコロナウィルス感染症対策の為、オンライン会議として開催されました。

出席者（順不同、敬称略） 加藤昌之、野口和樹、原眞佐実、荒木衛、澤村喜久夫、鈴木祥司、山田美紀子、小川志保、松井明子、蒲珠妙、山田浩喜、山口ゆずみ、春日井哲也、
司会：松井明子

※荒木衛さん、事業担当として今回から参加

『会員紹介』

原 眞佐実（はら まさみ）
理事（企画担当）

現在30内で企画担当理事を仰せつかっております。

建築設計監理を生業として半世紀余り生きて参りましたが、学生時代は「絵描き」になりたくて絵の勉強に勤しんでおりました。ただ先生から「絵で飯を食っていくには一山や二山の土地持ち位じゃないと大変だぞ」ということを言われ、止む無く建築の道へと進みました。社会人になって直ぐの頃に明治村へ「ライトの帝国ホテルの玄関棟の移設」の話があり、一番最初の取っ掛りのプロジェクトに参加し

たのが、歴史的建築物と関わるきっかけとなりました。

歴まちびとになってもうじき十年、また皆さんとZOO法人を立ち上げてから五年が経過しようとしています。ヘリテージマネージャー以外のこういった歴史的建造物の保存活用再生とあった活動をされる方々（歴まちびと）が存在する自治体は全国的にも珍しいと言えます。その特徴を生かして、松井事務局長も言われている様に、皆で名古屋の歴史的建造物を守っていくのが責務かと。

鈴木 祥司（すずき しょうじ）

理事（フオローアップ委員長）



なごや歴まちの会（旧会）設立から早や九年が経ちました。白雲閣イベント、ヴォーリズ近江八幡見学ツアー、大阪空堀商店街減額ツアー、津村渡部氏セミナーなど数々のイベントの楽しかった思い出が湧いてきます。残念ながらのコロナ禍でイベント等の自粛で寂しい限りですが、いつかまた皆さんとワイワイしながらイベントなど楽しみたいです。

ところで自己紹介ですが、長年住宅の設計事務所を無我夢中で営んできま

した。近年は古民家の修復、再生に少しずつシフトしており、今少しゆとりのあるスタイルで一步一步あゆんでいく様、自分に言聞かせてますが、ままになりません。また自分の故郷の町づくり挑戦しようとしています。人と人の繋がりが重要なこのWorkは未熟な私には大変難しく、すれ違いや挫折続きです。無駄骨ばかりで孤軍奮闘、心折れずに続けてます。フオローアップ委員会で活動をしておりますが、古街道沿いの風景・建造物の今昔写真集を作成企画しております。皆様会員の参加募る予定です。（PRです！）宜しくお願いします。

小川 志保（おがわ しほ）

理事（会計担当）

歴まちサポーターで先日、歴まちびと養成講座を修了しました。

元々、歴史や民族学・民俗学に興味があるので古い建物や生活が形となった建物をみたり本で読んだりすることが好きです。

祖父母の家が岐阜県の郡上にあり、小さいころから田舎の家に行く機会が多く、自分が生活する建物と違う雰囲気は何からきているのだろうと思うようになったのが建築関係に進むきっかけになったのではないかと思います。

田舎は何もないと言われるのですが、何もないところに落ち着きや安らぎを感じます。便利さ・快適さを求め

ることも大切ですが、気候や生活が形となった建物が減っていることを寂しく感じます。歴まちの会では、みなさんが良いと思うものがそれぞれだと思いますが名古屋の歴史的建造物を一緒に探し出して守っていく活動をしていきたいと思っています。



夏の郡上の風景
何もないところがいいんです
(私にとっては・・・)

山田 浩喜（やまだ ひろよし）

事務局員（HP担当）

中村草田男が『明治は遠くなりけり』と俳句で詠んだのが昭和六年だそうです。そうなる昭和も随分と遠くなってしまったと実感しております。

話ばかり、僕も六十歳を前にこれからのことを考え、趣味の一でもいろいろと試みてはおりますが、これというものには、まだ出会えておりません。実は、この試みは十年前前から、仕事関係でもデジタル化が進み、どうせ趣味にするならアナログ系が良いかなと思ひ、高校時代、友の写真部の暗室の真っ赤な電球の明りに憧れ、最初は銀塩写真（モノクロ写真）の現像・

焼付を趣味に思い立ったのは良いですが、この十年で白黒フィルムはじめ、現像用の薬品や印画紙等の国産メーカーが撤退し、入手がかなり困難になり、えらく高価な趣味になってしまいました。挫折を味わい、次に小学校の高学年ごろに流行った（年齢的には一応トランジスター世代）ので電子工作をと思い立ち、小学生のころ読んでいた「子供の科学」を引つ張り出し、電子工作なら定番の鉱石ラジオから始めれば、結構、長い間楽しめる趣味になるかなと思ひ立ちました。その矢先に、今度は民法の改正放送が終了し、放送になるとニュースで聞き及びました。確かにラジオでスマホを使えばステレオで雑音の無い全国の放送が聴けるのですからという声が聞こえてきます。ですが、僕の趣味ですからと言いたいのですが、聴くものがなくなつては、ただの箱ですのでこれも挫折しそうです。てなわけで現在、趣味募集中です。誰か昭和四十・五十年代ごろを彷彿させる良い趣味が御座いましたらご紹介ください。

